

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 5 月 16 日

事業所名 多機能型事業所Seed & Sprout

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	お子様の活動のためのスペースが十分に確保されているか	☐		机上、活動、粗大運動スペースと分かれており、好きな活動を十分楽しめ、安全を確保できるだけの広さが確保されている。	
	職員の人数はお子様の人数に対して適切か	☐		①子ども達1人1人の活動に十分に目が届き、安全確保が出来るだけの人員配置がなされている。 ②小集団療育の中で、子どもが1人で過ごしたり、手持ち無沙汰になることなく関わることが出来る。	
	教室内はすべてのお子様を想定し、スロープや手すりの設置等、バリアフリー化の配慮がなされているか	☐		①子ども達にとって過ごしやすい環境作りがなされている。 ②手すり等はなく、玄関や運動療育スペースの手前に段差もあるが、子ども1人1人に寄り添い、目を配らせるだけの職員配置がなされており、その都度事故防止のための声掛けを行っている。	
	事業所内は常に衛生的・清潔な状態が保たれているか	☐		毎日療育後に職員による清掃、除菌作業が行われている。	
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	☐		毎日、子ども達1人1人の療育中の様子や疑問点の解消、支援方法の提案等についての話し合い、情報共有のための時間が設けられている。	
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	☐		開所1年未満のため、まだ行われていないが、今後行われる予定。	
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	☐		開所2年未満のため、まだ行われていないが、今後行われる予定。	
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	☐		開所3年未満のため、まだ行われていないが、今後行われる予定。	
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	☐		毎週1回は子どもたちの様子の情報共有や、疑問点の解消、支援方針、療育方法等についての研修が行われている。	
	お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか	☐		相談や要望等のある保護者とは密に連絡を取り合い、その結果を支援内容に組み込んだり、支援記録も詳細に作成し保護者に公開している。	
	お子様の活動が固定化しないようプログラムを工夫しているか	☐		様々な物事に興味を持ち、取り組めるよう知育玩具や遊びのバリエーションを増やし、職員からも丁寧に子供たちに働きかけ、季節ごとのイベント等も支援内容に取り入れている。	

適切な支援の提供	お子様の活動意欲が高まるような創意工夫を行っているか	☐		①その時に子供がやりたい事を、職員さんが子ども達に寄り添いながら、タイミングを見て遊びの提案提供を行っている。 ②職員が子ども達と一緒に活動を楽しみ、気持ちの共有をしている。	
	お子様個々に対して活動支援などを細かく行っているか	☐		①職員がほぼ1対1に近い個別療育にあたり、個々の特性に合わせた支援を行っている。 ②日々、詳細な支援記録を作成し課題を見つけ情報共有し、改善に向けての話し合いを行っている。	
	お子様の状況に応じて、集団・個別活動を行っているか	☐		1人1人の子ども達が自分のペースで個別、集団での活動が出来るよう職員が寄り添い、働きかけながら支援を行っている。	
	お子様の状況に応じて、関係機関と連携を取り、総合的な支援を行っているか	☐		①保護者や先生からの要望、必要性があれば学校、幼稚園、保育園との話し合いも行い、事業所見学も積極的に受け入れている。 ②送迎時等に、家、学校等での困りごと、事業所での様子等を情報共有している。	
関係機関や者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	☐		施設長、児発管が主に会議に参加している。	
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	☐		①学校から行事予定の情報共有を受け、保護者との連絡体制も確立されている。 ②保護者に下校時間を確認しており、遠足や運動会等の変則的なイベントがある際には下校時刻を先生に確認をしている。	
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	☐		該当児童はおらず	
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	☐		情報共有は綿密に行っている。	
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	☐		該当児童はおらず	
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	☐		今後、行うかどうかも含め検討中	
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	☐		今後、行うかどうかも含め検討中	
	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	☐		今後、行うかどうかも含め検討中	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	☐		①支援中の子どもの様子については、詳細な支援記録を作成し、写真でも共有している。 ②送迎時や連絡ノート、ライン等で相談を受け付け、親身に対応している。	
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	☐		家での様子や困り事を聞き、話し合いの機会を作り、子どもとの接し方等の助言を行っている。	

保護者への説明等	保護者様に対して適宜面談を行い関係を継続的に維持しているか	☐		サービス担当者会議や、送迎時等で話す機会があり、要望があれば面談の時間を設け親身に対応している。	
	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☐		①家での様子や困り事を聞き、話し合いの機会を作り、子どもとの接し方等の助言を行っている。 ②要望があれば面談の時間を設け親身に対応している。	
	お子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	☐		1人1人の子どもの特性に合わせた声掛けや、視覚支援を行いコミュニケーション能力の向上に努めている。	
	日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができているか	☐		家での変わった様子や困り事があれば、電話やライン、連絡帳等で相談を受け付けている。	
	支援の内容や利用者負担について丁寧な説明がなされているか	☐		契約時に行っている。	
	お子様やその保護者様からの苦情の対応体制を整備し、それを保護者様に周知・説明を行い、苦情があった場合は円滑に対応しているか	☐		苦情や要望があれば親身に対応し、職員間で周知し改善に努めている。	
	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等をお子様や保護者様に対して発信しているか	☐		①子ども達の支援中の様子はホームページで公開している。 ②また調理実習や買い物実習等の予定があればその都度保護者に連絡し、許可を得ている。	
	個人情報に細心の注意を払っているか	☐		事前に子どもの写真の使用についてはアンケートを取っている。	
非常時の対応・満足度	緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、保護者様に周知・説明しているか	☐		契約時に実施済み。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	☐		避難訓練を定期的に実施している。	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	☐		今後行う予定。	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	☐		契約時に説明済み。	
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	☐		アレルギーについては職員間で周知し、徹底している。	
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	☐		実施済み。	

